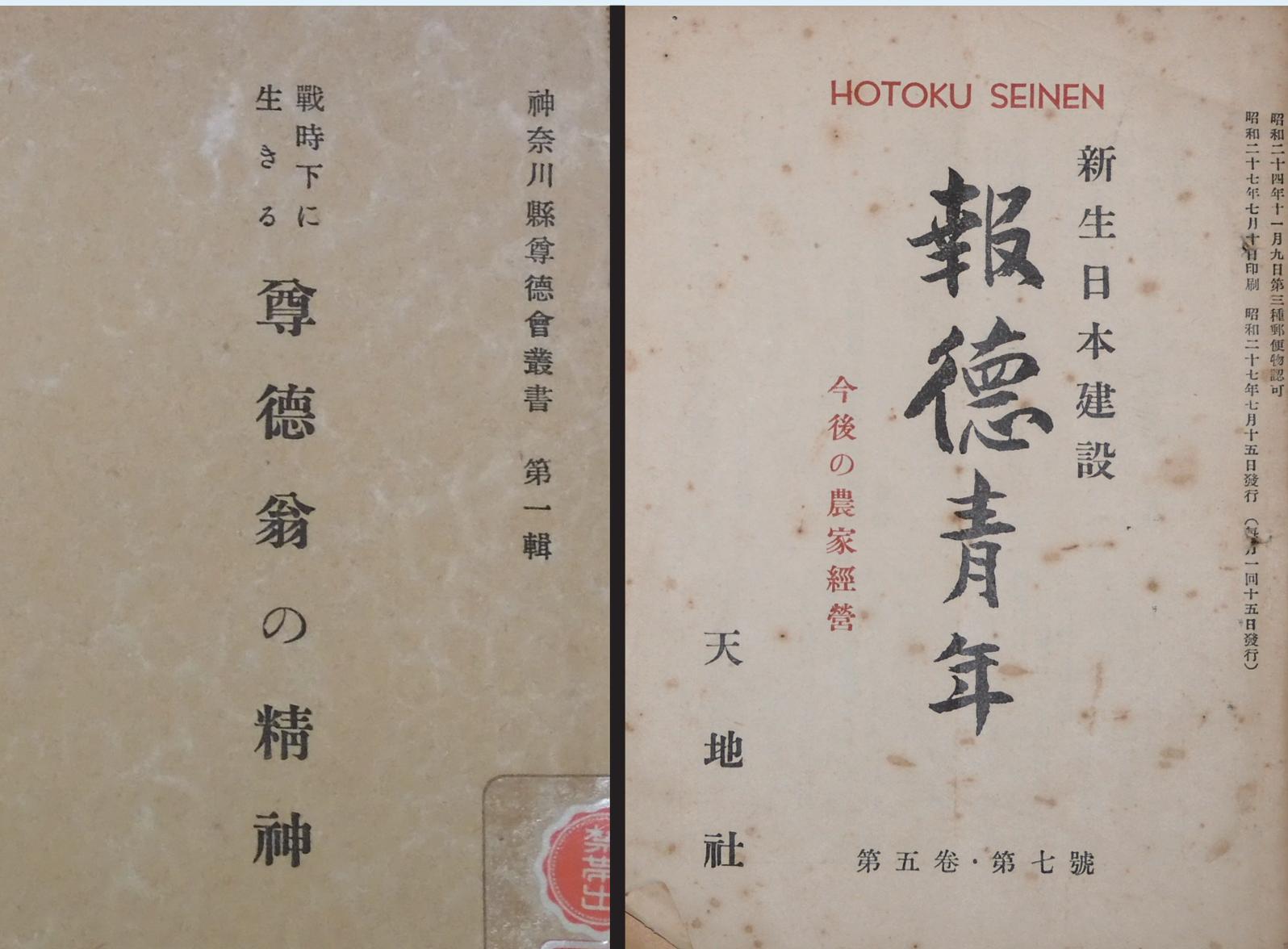


小田原市尊徳記念館 令和7年度 金次郎を学ぶ会 講座

第二次世界大戦下

～終戦直後の報徳運動



●日時：令和7年7月13日(日)

午後1時30分～3時

●会場：小田原市尊徳記念館 3階講堂

(神奈川県小田原市栢山 2065-1)

●定員：100名

●講師：小田原市尊徳記念館学芸員

「戦時下国民の守るべき道」の提唱者から、

「日本最初の民主主義者」へ

報徳青年講習会		報徳講演会	
<p>一、期日 自八月一日 至八月五日</p> <p>二、場所 當館</p> <p>三、主催及 東京部 申込先 當館 草場弘</p>	<p>報徳原理 佐々井信太郎 文博加藤仁平 水稲多収獲 黒沢 淨 麦、菜種多収獲 木田好雄</p>	<p>一、期日 自七月十九日 至八月二日</p> <p>二、場所 横浜市港北区 大倉文化研究所</p> <p>三、申込先 右に同</p> <p>四、主催 一月融合会</p>	<p>報徳講座 佐々井信太郎 加藤冬彦博士 田崎経済博士 肥後文学博士 原田三千夫 上浦 種 宮西一積</p>

昭和30年代に栢山ほかで開催された講習会の予告（小田原市尊徳記念館所蔵）

第二次世界大戦下、神奈川県は「神奈川県尊徳会」を組織し、二宮金次郎の業績や思想を手本に戦時体制に貢献するよう県民に訴えかけました。終戦後、金次郎は「日本最初の民主主義者」へと評価が一変し、その生誕地栢山では戦後復興のありかたを考える講習会や合宿が盛んに開催されます。こうした運動を推進していたのは、かつて戦争への協力を喧伝していた神奈川県尊徳会や、それに同調した人々でした。

今回の講座では、第二次世界大戦終結 80 周年に関連して、戦中から戦後間もなくの報徳運動がどのように展開したのか、戦争という大きな出来事を経て運動の何が変わり、何が変わらなかったのかを探っていきます。

◎小田原市尊徳記念館アクセス

〒250-0852 神奈川県小田原市栢山 2065-1

電 車：小田急小田原線…栢山駅または富水駅から徒歩 15 分

自動車：東名高速道路大井松田 IC から約 10 分
小田原厚木道路小田原東 IC から約 10 分

